

医療・介護・健康データ利活用基盤高度化事業 令和2年度の取組

1. 医療・介護・健康分野のネットワーク化推進

ICTを活用した医療・介護・健康分野のネットワーク化を推進するため、新たな通信・放送技術の活用も見据えた遠隔医療モデルの構築やPHR(パーソナル・ヘルス・レコード)を民間事業者が取り扱う際のルール作り等に資する調査・検討、普及啓発等を実施

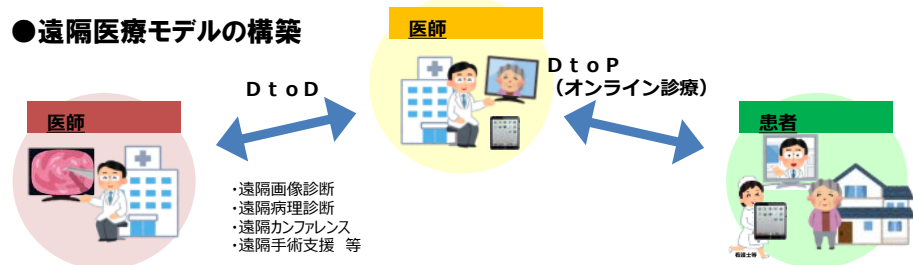
2. 医療・介護・健康分野における先導的ICT利活用研究推進

医療等分野における先導的なICT利活用(8K等高精細技術の医療応用、高度な遠隔医療の実現に必要なネットワーク等の研究、AI・IoTを活用したデータ基盤開発)を実施

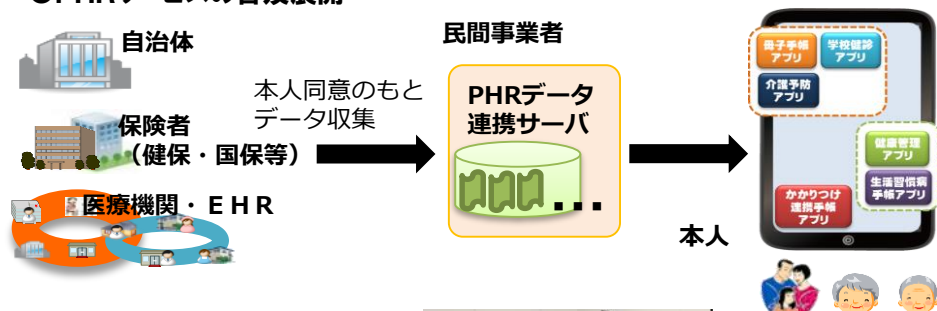
※ AMED(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)の事業として実施

【予算】 医療・介護・健康データ利活用基盤高度化事業
6.5億円(令和元年度 8.8億円)

●遠隔医療モデルの構築



●PHRサービスの普及展開



●8K内視鏡システムの開発、遠隔医療への応用



●認知症対応型AI・IoTシステムの開発

